

ゴビンダ通信

No 12

発行 無実のゴビンダさんを支える会
Justice for Govinda - Innocence
Advocacy Group

July .1 .2003

< 6月学習会報告 >

『ゴビンダ事件の再検証』～第一回 巣鴨の定期入れの謎を追って～

6月29日(日)梅雨時の蒸し暑い午後、ゴビンダ支援者15名が、弁護団の神田先生と国民救援会の山田会長の協力を得て、巣鴨の現地調査と学習会を行いました。

午後1時、大塚駅から都電荒川線に乗り3つめの「新庚申塚」で下車。そこから地図を確認しながら歩くこと3分。目的地の民家は、ブロック塀に囲まれた古い木造家屋で、住宅が密集した狭い路地(袋小路)の入り口にありました。3月8日渋谷で殺害された被害者の定期入れは、事件から4日後(19日の遺体発見より1週間前)、この民家の庭(ほとんど「縁先」のような狭い空間)に投げ込まれていたのです。この家の主婦が、朝、洗濯物をほしていた時にみつけたそうですが、たしかに物干し竿とハンガーが軒先に下がっているのが、ブロック塀のすぐ向こう側に見えています。「それにしても、なぜ選りにも選ってこのような場所に???'とは誰もが抱く感想です。「通りすがりに何気なく投げ込んだ」とは、とうてい考えられないような不思議な場所なのです。

その後、「豊島区立巣鴨社会教育会館」に移動して、神田先生の解説と裁判資料にもとづく学習会を行いました。要約すると・・・この定期入れについて、被害者がここに来て捨てていった、被害者が落としたものを第三者が捨てた、真犯人が殺害後に奪って捨てた、真犯人が落としたものを第三者が拾って捨てた、という4つの推論が成り立つ。検察側は を証明しようとしたが、いずれも捜査の裏づけがとれず証明不可能におわった。残る の可能性について、ゴビンダさんが巣鴨に来た形跡はないか(周辺に友人知己はいないか)、警察は必死の捜査を行った。しかし、ついにゴビンダさんと巣鴨を結びつけることはできなかった。したがって、「ここに定期入れを捨てたのは真犯人」であり、それは「ゴビンダさん以外の人物」であるという「合理的な疑い」が出てきたわけである。また定期入れからはいくつかの指紋が採取されているが、いずれも「対照不可能」、つまりゴビンダさんのものではなかった。これは検察官でさえ「乗り越えるべき課題」と公判で認めている・・・。

この定期入れの存在こそ、ゴビンダさんにとって有利な無罪方向の証拠だと確信を強めました。一審の無罪判決が、この定期入れを「もし被告人が犯人であるとしたら、合理的説明が不可能な証拠のひとつ」として重要視したのは、正当な判断と言えるでしょう。反対に、二審の有罪判決が「説明不可能だからといって、被告人の犯人性を疑わせるものではない」として、この証拠を切り捨ててしまったのは、疑惑解明を放棄したきわめて理不尽かつ不誠実な態度と言わざるを得ません。

この日の現地調査と学習の成果は、「無罪証拠として定期入れを再評価してほしい」という支援者からの要望書として、7月14日最高裁要請行動の時に提出します。

活 動 報 告

支える会事務局からのお知らせ

署名活動のお願い

署名活動へのご協力ありがとうございます。今までに集まった署名は7月14日の最高裁要請の時に提出します。今後も公正な裁判を求める署名活動を続けていきます。まだ署名していない方は以前送付した用紙を使って署名をお願いします。他の組織や団体にも働きかけて出来るだけ多くの署名を集めましょう。用紙が足りない場合は増刷りして下さい。第2次回収： 9月20日まで

7月学習会のお知らせ

『布川事件・第二次再審へ不屈の闘い』

～ 20歳で逮捕されて36年！「やってないものは、やってない！」～

日時 7月25日(金)午後7時から9時
場所 弁護士会館5階508AB号室
内容 ビデオ上映と講演
講師 桜井昌司氏 (布川事件冤罪被害者)

ネパール語のホームページ

ラジャン代表がネパール語のHPを立ち上げました。すでに1万5千件のアクセスがあったとのこと。HPアドレス：<http://www.nepaljapan.com>
(ただし通常のソフトではネパール語が文字化けするので、写真しか見られません)

英文ブックレット完成

待望の英文ブックレットがいよいよ完成しました。海外の団体やメディアなどへは無料で配布します。発送先についての要望や提案があれば、お知らせ下さい。

事務局会議

毎月第2火曜日 午後7時～9時 現代人文社：信濃町駅下車徒歩5分

<次回は7月8日(火)、次々回は9月9日(火)> **8月は休みます。**

支える会の現状と今後の活動について議論を深めたいと思います。事務局会議には、会員ならどなたでも参加できます。「支える会」を活発にするため、多くの方のご出席をお待ちしています。

暑中見舞い

8月は、「ゴビンダ通信」に代えて「ゴビンダさんからの暑中見舞い」(自筆イラスト入りの複製ハガキ)をお届けします。みなさんからも、お返事を出してあげてください。独居房で暑い夏を過ごしているゴビンダさんを励ましましょう。ゴビンダさんはまだ日本文(漢字)が読めません。文面(とくに住所氏名)は、ローマ字でお願いします。

無実のゴビンダさんを支える会 事務局

東京都新宿区信濃町 20 佐藤ビル 201 現代人文社気付 留守電・FAX 0426-37-8566

e-mail: mainali@anet.ne.jp ホームページ <http://www.jca.apc.org/~grillo>



Dear Mina san Ohayogozaimasu (Namaste) !
Ogenkidesuka ?

Watashi ha amari genkinai desu

19 May 2023 monday blood check shite muraimashita shikashi
mo mandai nakatta isyakara yutta kere doumo Henki kheni
shite kurenai to biyaki de kono semai heyani haiyaku sh
shimau cum shirana? Hidari mune to arakano atari 3.1
maye kara zutto gaman dekinai gurai itakumasu. Mata ene
tottemo jakuten (weekness) desu. khaiyou (Ulcer) no khan
Mata khetsuatsu (Blood pressure) mo takai desu. Ate utsui
khusuri nerumaya no khusuri (sleeve tab) ~~no~~ ^{no} honde imasu.
Tottemo nippana oku-san to ii hanashii bakkori shite, kono 4
haiyaku sugimashita. Tottemo tanashi desuwa.

Mina-san doumo arigatou gozaimashita.

konkai oku-san no nippon boumon no nakani issoni kuni (n
khaeru tsumori (khibe) ottakere do dasute kurena katta hi
Mata oku-san (kodomo) to ichuka aimu (meet) ka dou ka wa
Mata ichuka kodomo to oku-san ni nippon yonde kudassar
kontouni arigatai koto desu, mina-san oregaishimeru

"Muzitsu" hito ni ichi nichi mo tojikomerareru koto damo desu. Kono
(oku-san) no jinsei no madomo wakai-ii toshi (golden life) ni hanarete nai
su suru kono izo khonashimi koto nai desu. Dou yatte futari to mo ga
itaidesu. Nippon no keisatsu koto saibansya, sefu kara gamakibesue
6 nen kan ize semai haya ni tojikomerarete watashi tachi no ii jin:
Nippon no keisatsu sefu koto saibansya hountoni okashii desu. hid
Yamero kono seisurei khangaikata-yarikata? kono 6 nen kan no wa
modoranai desu? Nan no mukuteki de muzitsu hito ni 6 nen m
heyani zutto tojikomerarete inochi ubatte masuka?

Haiyaku dasute kudasai khazuok

Mina-san tasukette kudasai kore kara mo yaroshiik

Deua Mata



Gorin da hitting drum - "Madal" with →

Nepali